

# 自己点検・自己評価報告書

本校は教職員による自己点検・評価を実施し、その結果についてこの報告書にまとめた。

報告書の内容については、成田市内及び富里市内の県立高等学校の教職員にも開示して意見を求めた上で

外部の有識者を含む学校法人理事会及び評議員会へ報告し、承認を受けている。

**学校法人翔陽学園**  
**成田航空ビジネス専門学校**

平成27年4月30日作成

# 成田航空ビジネス専門学校

平成27年4月30日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準1 教育理念・ 目的・ 育成人材像	理念・目的・育成人材像は定められているか。	4.8	理念・目的・育成人材像については、わかりやすく具体的に示しているため学生・教職員にもよく周知されている。
	学校の特色はなにか。	4.7	現在の職業環境に対応出来る実務能力及び外国語でコミュニケーション出来る能力を習得し、併せて豊かな教養と人間性を培い、航空・ホテル・観光業界を担う、自立し実践的な人財を育成する為、1人1人の個性を見極めて指導した。
	学校の将来構想を抱いているか。	4.7	選ばれる航空ビジネス専門学校として一層レベルを高め、航空・ホテル・観光業界で活躍出来る実践的な人財を育てる事により、社会的に評価され信頼される学校を目指した。
	全体	4.7	
基準2 学校運営	事務管理費の効率的な支出を行う。	4.1	コストパフォーマンスを評価して、より効率的な執行を心がけた。 学生数増加に対応する為、より費用対効果の高いもの、優先度の高いものから支出した。
	各種規程類の見直しおよび整備を行う。	4.1	平成26年11月28日千葉県総務部学事課の学校法人検査指導において、学校保健計画と学校安全計画を夫々に作成するよう指導があったので、修正した。 契約教職員が55歳に到達した場合及び定年に達した場合の取り扱いが教職員に準ずる事を明記して、周知した。
	自己点検・自己評価の確実な実施と 第三者評価に対応した評価システムへのステップアップに対する準備	4.7	自己点検・自己評価については実施できている。 千葉県学事課の指導に基づき、成田市内の県立高等学校教職員にも開示して意見を求めた上で、外部有識者を含む評議員会・理事会へ報告する事で更に透明性を高めた。
全体	4.3		
基準3 教育活動	事務処理の迅速化・効率化。  業務スケジュールをスタッフ間で共有し、 お互いにサポート出来る体制とする。	4.3	教務事務担当による年間及び月間スケジュール管理により改善されたが、より早い段階で計画が立てられ、事前の準備が充分出来るよう、更なる改善が必要。 毎日のブリーフィング、毎週の定例ミーティング等を通じてスタッフ間の情報共有を図った。 講師会及び非常勤を含む担当教師のミーティングを随時行って、現状及び解決策について情報を共有して、共通の認識を持って学生を指導出来る体制を目指した。 共通データベースを構築する事で更に情報共有を促進する。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

# 成田航空ビジネス専門学校

平成27年4月30日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準3 教育活動	英語力アップ。	4.9	TOEIC IPの実施回数を増やし、継続的により実践的な英語力向上をはかった。
	就職に役立つ各種検定・資格取得を積極的に受けるよう指導する。	4.9	各種資格試験の重要度を再評価して整理した。校長賞・奨励賞はその効果を見て整理した。27年度よりサービス介助士資格取得を目指す事としてその準備を行なった。
	授業内容を強化する。	4.2	各教科の目標とシラバスを明確にして講師が共有出来るようにした。 副担任制を活用した個人面談を含めた指導内容を集約して共有できるようにした。 授業アンケートのフィードバックがまだまだ不十分であり、改善を要する。
	カリキュラムの内容を、コースの目標を達成する為により実践的な内容にupdateする。	4.6	就職試験を意識させて、より小人数できめ細かく指導出来るようにした。 数学は能力に応じてクラスを細分したが、来年度から上位層もよりきめ細かいクラスとする。 英語科目について空港・ホテルの現場で使われている実践的な教材を作成し、活用しているが更に改良を加える。
	全体	4.7	
基準4 教育成果	資格取得率の向上が図られているか。	4.5	就職活動に役立つ各種資格のニーズを再評価し、より重要度の高いもの優先するよう整理した。3名がIATA Diplomaを取得した。
	退学率の低減が図られているか。	3.5	11名の退学者(13.1%)があった。(別に3名は2年次を休学して海外留学) 1年次より個別指導と補習を積極的に行い、授業についていけない学生を減らすよう努力した。
	全体	4.0	
基準5 学生支援	「平成26年度 年間計画表」に基づいて実施。	4.8	iPadを使用した授業が定着しつつあり、更に有効に活用出来る事を目指した。
	「キャリア講座」及び「社会人基礎力養成講座」の充実。	4.8	キャリア講座及び社会人基礎力養成講座の内容をリンクさせ、又夫々の学生の特性を把握した上で、副担任を中心として個別にフォローする事で、基礎力及びメンタルの強化を図った。 エントリーシートの指導を継続的に行い、フィードバックする事で、効果を上げた。
	就職指導の効果的・効率的実施。	4.8	面談、進路相談を継続的に実施、学生が内面・外観共に成長出来るよう指導した。 内定後もモチベーションを高め、更に資格取得、レベルアップを目指させ、効果を上げた。
	クライアントの定期訪問と新規開拓の実施。	4.8	企業との信頼関係は良好に保てた。ナリビ生が各企業で活躍し、離職率も低い事が高く評価されているので、より本校に対する信頼が強くなっている。
	就職率達成目標(100%)を目指す。	5.0	9年連続就職内定率100%達成(但し卒業生の内、就職を希望しない者を除く)

# 成田航空ビジネス専門学校

平成27年4月30日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準5 学生支援	CA合格者	4.1	平成25年度に引き続き、平成26年度も2名がCAに採用された。
	全体	4.7	
基準6 教育環境	学校を取巻く環境の変化に伴う、学校施設（教室備品等）および、規則（利用、運用規則等）等の検討整備を行う。	3.8	教育効果を上げる為に必要な施設の整備、備品の補充を行なった。 iPadをより活用する為、WiFi環境を改善した。 今後更に、より質の高い教育環境を提供出来るよう、施設、運用の改善を図る。
	全体	3.8	
基準7 学生募集と 受け入れ	専門学校の定員を確保する。	5.0	平成26年度84名、平成27年度81名と2年連続で定員を超えた。 今後は数を維持しつつ、より意欲・学力の高い学生を集める。
	オープンキャンパスは平日は随時受付、平日夜間、土曜にも開催し生徒、ご父兄の利便を優先して柔軟に対応する。	4.8	オープンキャンパスを生徒及び父兄の要望に応じ柔軟に対応し、体験講座参加者・学校見学者は414名(前年対比+45名/+12%)となった。 実施内容を見直し、より本校の特色を簡潔にアピール出来るようにした。
	高校内での学校説明会・留学生対象の説明会への参加	4.5	高校内説明会は重点校を中心に積極的に対応した。 費用対効果の低い会場ガイダンスは絞り込んで対応した。
	紙媒体を減らし、ホームページ、SNSを活用する。	4.8	ホームページ、スマホサイト、携帯サイト、ブログ、facebook、等の連携で注目度アップを図った。
	学校訪問のプライオリティ付け。	4.5	対象校を過去の入学実績等で区別し重点校を中心に学校訪問を行った。
全体	4.7		
基準8 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4.3	入学者を維持して平成26年度も黒字を確保し、平成27年度も黒字となる見込みである。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4.5	学校の財務体質を強化しつつ、品質をあげる事を目指して年度予算を作成している。 学校会計基準に従い財務諸表が作成され、予算と収支管理が行われている。
	全体	4.4	
基準9 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.6	法令の遵守と適正な運用を図っている。平成26年11月28日に千葉県総務部学事課による学校法人検査指導が実施され、平成27年1月7日付けで改善・是正し報告する項目2点、改善を要する項目3点が指導されたが、その他については概ね適正に運用されており、経営状況が改善されつつあるとの評価を受けた。

# 成田航空ビジネス専門学校

平成27年4月30日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準9 法令等の遵守	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4.5	個人情報を取り扱う部署に対する教育・指導を実施している。情報漏えいを防ぐ為に、個人情報取扱い規定を作成し教職員に徹底した。 平成26年11月28日の学校法人検査指導で、学生に関する情報の取り扱いについて指導を受けたので、改善を図った。
	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4.6	教職員による自己点検・自己評価を行い、成田市内の県立高校教職員に意見を求めた上で、外部の有識者を含む学校法人評議員会及び理事会へも報告して承認を受けた。
	自己点検・自己評価結果を公開しているか。	4.8	自己点検・自己評価の結果をホームページにて公表している。
	全体	4.6	
基準10 社会貢献	地域の行事に積極的に参加し、活性化に寄与すると共に学生に社会との関わりを認識させる。	4.7	成田の3大行事(太鼓祭り、祇園祭り、御利生祭)並びに地元の行事(公津みらい祭り、公津フェスタ)に学生をボランティアとして参加させ、社会性を学ばせると共に、地域社会への貢献を実践している。
	英会話教室等を開設し、国際人を育てる事に貢献すると共に、企業等に対してもマナー教育、語学研修等を行い社会貢献しているか。	4.6	英会話は短期コースを開催して一時的に出席者が500名を超えたが、年度末では前年度対比12名(2.5%)増にとどまった。 企業研修にも積極的に取り組み、地元の名店「なごみの米屋」の研修を継続した事に加えNAA(成田国際空港株式会社)グループ企業のCS研修を受注して、成田空港におけるCS向上にも貢献した。
	全体	4.6	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

## 自己評価における特記事項

自己評価は学校経営目標・運営実施目標に基づく業務実施計画書に年度達成目標が、どの程度達成されているかを分野別に抜粋したものです。

※別添資料1 専門学校学生数の推移

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入学生	50	41	79	84	81
進級者	31	41	35	70	70
在籍数	81	82	114	154	151

※別添資料2 平成26年度卒業生就職先

CA	ANAウイングス	1
	中国南方航空	1
GS	ANAスカイビルサービス	7
	空港ターミナルサービス(ATS)	6
	JALスカイ	4
	GPA(グリーンポートエージェンシー)	4
	NAAリテイリング	3
	羽田旅客サービス	2
	ANAエアポートサービス	1
	ANAテレマート	1
	JAL-DFS	1
	JR東海ハッセンジャーズ	2
日本レストラン(グランクラス) (GA:グリーンアテンダント)	2	
AC	NCAジャパン	3
	西鉄物流	3
	阪急阪神ロジパートナーズ	2
	ANAエアポートサービス	2
	ANA成田エアポートサービス	2
	JALカーゴサービス	1
	日進エアカーゴ	1
	フジタエアポート	1
	国際空港上屋(IACT)	1
	羽田エアグラントハンドリング	1
	日本空港サービス(JASCO)	1
	HT	帝国ホテル
日本ホテル		3
インホテルズグループ(ヒルトン成田・ガーデンホテル)		3
ザ・ペニンシュラ		1
ミリアルリゾート		1
成田エクセルホテル東急		1
森ビルホスピタリティー		1
その他	TBCグループ、留学	2
合計		68

※別添資料3

資格		25年度生	26年度生	
英語	TOEIC	700以上	3 4%	4 5%
		600-695	8 10%	4 5%
		500-595	7 9%	13 15%
		400-495	16 20%	13 15%
	1年次のみ	-395	29 37%	22 26%
		英検	2級	26 33%
	準2級以上	60 76%	30 36%	
中国語		3級	0%	1 1%
		4級	3 4%	0%
		準4級	19 24%	1 1%
韓国語	ハングル検定	5級	0%	1 1%
	TOPIK	初級	1 1%	3 4%
日本語(留学生対象)		1級	4 57%	3 100%
PC	PC II種	1級	19 23%	2 2%
		2級	35 42%	6 7%
		3級	1 1%	9 11%
	AXESS Amadeus	中級(2級)	2 2%	0%
		初級(3級)	15 18%	23 27%
サービス 実務	サービス接遇検定準1級	1級	1 1%	0%
		2級	7 8%	2 2%
	ホテル実務 Basic 2級		0%	1 1%
	日赤救急法	42 50%	60 71%	
	アシスタントホスピタリティー	10 12%	20 24%	
	IATA DIPLOMA	3 4%	1 1%	

※別添資料4  
収益事業会員数(年度末実働数)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
合計	385	369	421	473	485
幼児	71	54	84	95	112
小学生	168	157	159	204	224
中・高生	77	60	57	54	60
成人	69	98	121	120	89